

カトリック精神に貫かれた教育方針のもと、さらにモンテッソーリ教育理念を取り入れ、子どもたち一人ひとりの自主性を尊重し、保育されていると思います。また、異年齢のクラス編成によって上の子が下の子のお世話をするなど、お互いに助けあって成長し人間性を豊かにする力強い教育がなされていると思います。

全教職員の方々は常に園児一人ひとりの成長に目を向け、子どもたちが健康で安全に過ごせるよう環境整備を行っておられます。特に、温水器や空気清浄機などを設置し、園児の衛生面の指導にも力を入れています。また、複数回の避難訓練を実施し、安全面にも配慮されています。

職員一人ひとりが研修や勉強会に積極的に参加し、前向きな姿勢が見られます。

日常は、細やかに連絡帳で、子どもの様子をお知らせいただき安心できます。また保護者に対してもとても丁寧な態度で接していただき、特に、学期末の保護者懇談では、子どもの様子を詳しく説明していただけるので感謝しています。

勤労感謝の施設訪問やディサービスセンターの慰問などを行い、地域社会とのつながりを大切にされています。

- ◎ 園の教育理念や方針を理解し、保育計画のもと子どもたちの実態にあわせて環境を整え、保育を行っている。また、教職員一人ひとりが自分の役割を果たし、研修に参加するなど、常に向上心を持っている。
- ◎ 教職員が一人ひとりの幼児を理解し、安心・安全につながる環境を整えようと努力している。常に子どもたちの事故防止に努め、子どもたち自身が危険を察知し回避できるように指導を続けている。
- ◎ 保護者への対応、相談などにも丁寧にかかわり、教職員が協力し、支援できるように努めている。
- ◎ 今後の課題としてあげられること
 - ・クラスや担任が変わらないことで、保育活動がマンネリ化しないように、常に見直し、保育の質を高めるよう努力する。
 - ・地域との関わり、自然環境との関わりがまだまだ不十分なので、保育計画に取り入れ関わりを持つよう努力する、
 - ・研修会などで得た知識を自分の力とし、保育の中で実践できるように努力する。

園長コメント

この一年間、教職員の皆さんが心を合わせて保育の充実に、また事務手続きなどの完成に努力されたことに先ず感謝いたします。

社会の激しい変化が幼い子どもたちの心にも影響を与えている今日、私たちは大人として、世界の動きにも心をくばりつつ大事な幼児期の教育に励みたいと思います。

「先生たち」の研究心にも、地域への関心にも広がりが見られることを嬉しく思うと同時に、これからの更に厳しい時代に向けて心一つに頑張ってもらいたい、と願っています。